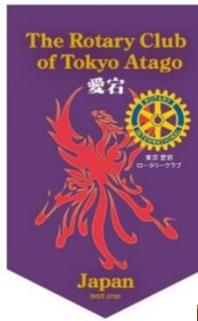


No. 3 2013/9/17

# WEEKLY REPORT 2013~2014



## 東京愛宕ロータリークラブ

会長	尾関勇	・	幹事	佐藤秀樹
副会長	石渡美奈	・	副会長	片山謙次
副会長	波多野まみ			
例会場	東京アメリカンクラブ			
例会日	毎週火曜日 8:00~			

■本日のインニシエーションスピーチ  
東京愛宕ロータリークラブ 副会長  
片山 謙次

■前回のトピックス  
副会長 石渡美奈さんが、9月9日ご入籍  
されました。おめでとうございます！！

### ■ 9月10日 (火) 会長挨拶 会長 尾関 勇

昨日、東京恵比寿・渋谷・杉並RC合同の例会で東京愛宕RCのことを話す機会をいただきました。各クラブへメークアップの際は、会長名で名前を入れてあるので、パナー交換を壇上でしていただきたいと思います。9/24にはドイツ・テトナングRCとも交換をする予定です。また、ロータリーの友をお配りしています。こちらは、必ず読む月刊誌です。また、他クラブでも業界で成功された方が多く、奉仕活動をされています。みなさんも、ロータリー活動をよく理解していただきたいと思います。本日は、中井美穂さんに卓話に来てくださいました。そこで、アナウンサーとしてどういう仕事の舞台裏なのか、人々に活気を与えているのか。また先週の脇さんの卓話でもデンタルのこと、保険診療のこと、みなさんもインスピレーション得たかと思います。毎週早朝より来ているので、そこで発見と気づき、研鑽を深めて行く場として欲しい、と思います。

### ■ 9月10日 (火) の卓話 元フジテレビアナウンサー フリーアナウンサー 中井 美穂 様 「私のアナウンサーライフとこれから」

東京愛宕ロータリークラブをスタートされ、その第一歩にお呼びいただき嬉しく思います。早速ですが、30分なので始めましょう。

1965. 3. 11生まれ。1987年にフジテレビ入社し、1995年結婚退社をしました。一番よく見てるテレビ局がフジテレビだったので受験したのですが、採用は一般職と別で行われました。今のように応募者が多くなかったため、書類だけでなく全員面接を受けてもらえましたし、小さいモノクロ写真でOKでした。セミナーに受かると、別途授業が1週間。男女20・20人くらいで進めます。その後、電話があり行ってみると10・10人となり、再度面接をし、そこからまた人が減り、最後に役員面接、カメラテスト。バブル終わり頃で、フジテレビはまだ一部上場もしておらず、ノリのいい会社のイメージでした。役員面接、当時鹿内春雄さんがセンターに座り、役員が周りにいて一人で受けましたが、非常に適度な感覚的な会社でした。「君はさあ、男についてどう思う？」と予期してない質問もあり、「私、あまり必要だと思って生きてきたことがありません」と答えたところ、ふんつと笑われて「まあそのうちわかるよ」と、今でしたらセクハラ紛いのこ



とまでありました。入社してみると、サラリーマンなのでもちろん配置替えもありますし、中身は結構体育会系でお茶汲み制度があり驚きました。お昼の手配も全て新人女子アナの仕事。封建的な会社員時代を過ごし、2年目からプロ野球ニュースの担当に。本人はスポーツ音痴のため上司へ「向いてないと思います。」すると「やる前から向いてないというの？自分で自分の可能性を潰すのはやめなさい。上が見て向いていると思っただけの抜擢なのだから、やってみなさい。」と。

実は最初の研修から落ちこぼれたんです。華やかな世界に入ってしまった、なんて場違いなんだろうと落ち込んでいた時、元テレビ朝日アナウンサーの古館伊知郎さんと共演する機会があり、「入社したはいいが、入ってみても自分の居場所が見つからないし、自分の個性も全くないですし、売りになるようなことがまるでないので、私はこの先アナウンサーとしてどうしたらいいでしょうか？」と、何も考えず図々しく相談したら、そのときにおっしゃったのが「個性はね、視聴者が決めるから。君が決めることじゃないんだよ。もしアイドルアナウンサーなら君のキャッチフレーズを決めてくれたり、君はこういう路線で行こうというかもしれないけれど、あなたはそういうタイプでもないし、会社は会社員にそこまでやってくれない。なので、あなたがやることは一生懸命仕事をやることだけだから。」個性は作らなくていいんだということに、割と早い段階で教えていただいて、「ああ、見る人が勝手に決めてくれるならやることを一生懸命していくしかない」と気づかされてから楽しくなり、2年目でプロ野球ニュースの担当を任せられました。

その時一から十まで何も知らないのですが、土日を含め4年間、月～金の帯で2年間、計6年間関わらせていただきました。周りの方が心配をしてくれてくれるほど、スポーツのことを知りませんでしたが、自分の苦手なことから逃げていたら今の自分はなかったとは思っています。フリーになって一番思うことは、自分で仕事を選ぶことができるようになって、そうするとどうしても自分がやりたいこと、できそうなことを選びがちになり、新しい冒険や、一歩何か自分の無理なことを踏み出すという挑戦する気持ちがなくなる。元々前に出るタイプではないのでますます消極的になっていく。というのが難しいなと思いました。やはり苦手なことをやっている、威張れないので、自分の知っていることだとチラチラ自慢しなくなる、視聴者よりちょっと優位に立とうとしてしまう部分が少しあると思うんです。でもスポーツをやったときは視聴者の方が全然上にいるので、教えていただく

いう、自分が司会者でありながら最下層にいるという意識がありましたので、いろんな方々から教えていただき、成長していく姿を見ていただく。そんなつもりは一切なかったですが、最初にモニターレポートというものがあり、番組をご覧いただいた任意の方々に司会者がいいワルいとか番組を評価してもらい、プロなのでもっとちゃんとやっってくださいとかそういうのを赤裸々に書いてくるんですよ。ちゃんと勉強しないと、とてもじゃないが放送を見ていられませんか。素人っぽくていいですね、という方もいらっしゃるし、そういうの全部見ながらやっっていく。自分の苦手なことを一つ一つやっっていく上で真摯にできることをやっっていく。それを楽しんでいただく。面白がってもらうというのが私の出発点ですね。

テレビが素人の時代だったことの影響がとても大きかったと思います。当時はおニャン子クラブや、オールナイトフジという現役女子大生が出るという、今まではテレビに出るのは芸能人、芸人、プロの方々、それを素人を出してなにもできないことをおもしろがるという時代に突入しておりましたので、その波がついに女子アナにも来たか、という象徴的素人代表だったのが私でした。時代とのマッチングで、これが2年前、3年前だと風当たりが強かったかと。この時代に育ててもらったことが、今でも仕事を出来ている理由だと思っています。その頃は、業績がよかったので即戦力にならなくても面白そうだから使ってみるかという企業のゆとりみたいのがあったが、だんだん厳しくなってくると即戦力や確実性を求めたり、よかった時代を踏襲してみたりするんだと思います。当時は怖いものもなかったですし、時代の波にうまく乗ったというのが、私のフジテレビでのアナウンサー時代だったかと思っています。

最後に、フリーになってからの一番のお仕事、世界陸上と、読売演劇大賞の選考委員について。95年に結婚退職、97年にTBSから、織田裕二さんと一緒に、というお話を

を頂いた時は、まさかあの織田裕二さんと思わなくて。俳優さんがスポーツのビッグイベントで司会をするというのは今でこそ普通になりましたが、97年当時はあまり例がありませんでした。重鎮男性アナウンサーがメインで、隣に女子アナが花を添える、コメンテーターにアスリート、歌はジャニーズ。これがスポーツイベントの王道でした。TBSになってからの9大会連続任せにいただきこの前も9日間モスクワにいました。現在、私のスポーツの中での柱になっているのは、世界陸上という大会のキャスターをさせていただくことです。

また私個人としては、演劇やミュージカル、歌舞伎に非常に興味があるので、その関係で少しずつお仕事をやらせていただいて、今年から演劇に与えられる賞で最も大きな賞である、読売演劇大賞、1年間の中で上演した演劇の中から、グランプリを決めるというものなんですが、その選考委員にやっとなれ、今は年間180~200本演劇を観ているという状況です。もしこの中で、演劇を見たいけど何を見たらいいかわからない方にはコンシェルジュをやりま。できればそういう仕事を今後やりたいなと思うんですね。演劇ってものすごく不便、まずチケットを買って、買う段階では未だその演劇が面白いかどうか見る事ができない、映画と違って確実性がない、見損ねたらDVDになるわけでもない、チケットは高い、会場まで行ってつまらなくても2時間くらい座っていなければならぬ・・・とリスクが高いんですね。だからあまり人口が増えていかない。その代わり、絶対になくなることなく、人が目の前で動いて、スポーツのライブと全く一緒。エネルギーを発してメッセージを受け取って、受け取った私たちがまた還元して心の栄養にしていく、というサイクル。その演劇の面白さを伝えるような仕事を今後は行っていきたいと思っています。もしまた機会があったら、例会へやっけてきますので、聞きたいことがありましたら聞いていただければと思います。

### ～今後の予定～

- 9/24 (火) テトナングRC合同例会 @ドイツ <東京休会> ⇒メーキャップへ！！
- 10/1 (火) 19:00~  
夜例会ですのでお間違えのないように。
- 10/8 (火) 2750地区研修リーダー 市川 伊三夫様  
「一身(しん)を三世(さんせい)に生く(いく)」

◆◆ 前回のニコニコBOX ◆◆ ￥20,000  
累計総額 ￥375,000

- ・中井さん、本日はありがとうございます。(比嘉)
- ・中井美穂さん、本日はお忙しい中誠にありがとうございます。(片山)
- ・中井さんの卓話を楽しみで、昨夜は寝られませんでした。先日のヤクルトの古田選手の神宮球場でのセレモニーも伺いました。本当に感謝しております。(川井)
- ・さわやかな朝ですね。今日は素敵な中井さんをお迎えして華やかな会となりました。ありがとうございます。(佐藤ますみ)
- ・中井美穂様、本日は朝早くから当クラブへいらしていただき、卓話を賜り、誠にありがとうございます。また本日は弊社マネージャー大森がお邪魔させていただいております。どうぞよろしく願っています。(石渡)
- ・中井美穂さん、本日は本当にありがとうございます。私はプロ野球ニュースの時代から中井さんの大ファンです。(橋場)
- ・中井さん本日は感謝申し上げます。おかげさまで清々しく、皆楽しい例会となります。(尾関)
- ・中井さま、本日はご講演ありがとうございました。(柳)
- ・中井様、素敵な朝を本当にありがとうございます。(山田)
- ・ニコニコ(ヘマント)
- ・国民的有名人中井美穂さんをお迎えしてのスピーチ、とても楽しみです。お忙しい中ありがとうございます。(若山)
- ・先週は休んで申し訳ございません。香港はずっと雨でしたが、2020年にオリンピックが決定した直後、多くの海外オフィスから声をかけていただき嬉しかったです。(佐藤秀樹)



国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<http://atagorotary.com/>

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL: 03-3568-3827 / FAX: 03-3568-3829 / E-mail: office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

